生誕100年特集展示

元永定正展

①元永定正《Piron Piron》 1975 年 三重県立美術館蔵

2022年 9月6日 [火] —12月11日 [日]

> 三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum

一漫ちゃん、も一やん、MOTONAGA SADAMASA―

生誕 100 年を記念して、元永定正(もとながさだまさ 1922 ~ 2011 年 三重県生まれ)の特集展示を開催いたします。三重県立美術館ではこれまで二度、元永定正展(1991 年、2009 年)を開催し、現在約 70 点の作品を収蔵しています。今回の特集展示は、当館のコレクションを中心に元永の活動の全容を紹介するほか、新たな切り口として出身地・伊賀に焦点をあてます。元永が画業をスタートさせた伊賀時代の作品や、伊賀で関わりのあった作家の作品、資料など、これまで紹介する機会の少なかった部分にも着目し、画家・元永定正の表現の源流をさぐります。

本年は、生誕100年を記念して各地で元永の展覧会が開催されます。口癖のようにいつも、「一寸先は光」と語っていた元永定正。私たちの心をいつも明るく照らしてくれる元永作品を今あらためて見つめ直し、元永が築き上げてきた芸術世界に触れていただく機会となれば幸いです。

展覧会概要

会期:2022年9月6日[火]~12月11日[日]

開館時間:午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日

(ただし9月19日、10月10日は開館)、9月20日 「火」、10月11日 「火]

主催:三重県立美術館

助成:公益財団法人岡田文化財団 公益財団法人三重県立美術館協力会

特別協力:モトナガ資料研究室

観覧料:一般 310 (240) 円 学生 [大学・各種専門学校等] 210 (160) 円 高校生以下は無料です。

- ()内は20名以上の団体割引料金
- ・この料金で柳原義達記念館もご覧いただけます。
- ・「開館 40 周年記念 岡田米山人と岡田半江展」 (9月 23日 [金・祝] \sim 11月 6日 [日]) もしくは「西洋美術へのまなざし―開館 40周年を記念して」 (11月 19日 [土] \sim 12月 11日 [日]) もご観覧いただく場合は、企画展チケットをお求めください。
- ・生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- ・教育活動の一環として県内学校(小・中・高・特支)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。
- ・毎月第3日曜の「家庭の日」(9月18日、10月16日、11月20日)は団体割引料金でご覧いただけます。

広報文

*紙面作成時にご自由にお使いください。

広報文①(約100文字)

三重県出身の現代美術家、元永定正の生誕 100 年を記念する特集展示。初期から晩年までの作品資料約 50 点により画業を振り返るとともに、出身地・伊賀との関わりにも焦点をあて、元永の表現の源流を探ります。

広報文②(約50文字)

三重県出身の現代美術家、元永定正の生誕 100 年を記念する特集展示。作品資料約 50 点を展示し、その画業を振り返ります。



②元永定正《とんでいる》 1954 年頃 三重県立美術館寄託



③元永定正《赤と黄色と》 1963 年 三重県立美術館蔵

伊賀から神戸、そして世界へ 一元永定正 3つの呼び名—

①漫ちゃん

元永定正が小学校高学年の頃に抱いていた将来の夢は、映画俳優か歌手か絵かき。郷里の商業学校を卒業後、大阪、京都や伊賀でいくつもの仕事に就き、やがて漫画や絵を描き始めます。漫画家を目指し、絵を描きはじめていた元永に絵の道を教えたのは、伊賀在住の洋画家、濱邊萬吉(はまべまんきち 1902~ 1998)でした。濱邊のもとで絵を勉強していた元永は、地元の広報誌などに漫画(イラスト)を描いて発表しました。こうしたことから、郷里の伊賀で元永は、親しみを込めて「(漫画の) 漫ちゃん」と呼ばれています。

②も一やん

1952 年、神戸へ居を移した元永は、芦屋市展で抽象絵画と出会い、自身も抽象作品を手がけるようになります。第8回芦屋市展(1955年6月)に出品した作品が審査員を務めていた吉原治良(よしはらじろう 1905~1972)の眼に留まり、吉原からの誘いを受けて、同年7月、芦屋公園の松林で開かれた野外展「真夏の太陽にいどむ野外モダンアート実験展」に参加します。ビニールシートにインクで染めた水を入れて吊るした作品は、吉原に「水の彫刻」と絶賛され、元永は吉原が主宰する具体美術協会の会員となります。以後、「具体」を活動拠点とし、50年代後半から60年代半ばにかけて、絵の具をキャンバス上に流して制作した作品によって、国内外での評価を固めます。

(3)MOTONAGA SADAMASA

1966 年にニューヨーク滞在の機会を得た元永は、アクリル絵の具とエアブラシという新しい素材技法に出会い、画風を大きく変化させました。明るい色彩、ムラのない色面でユーモラスなかたちを描き、明るく親しみやすい抽象画という元永独自の世界を築きます。〈おおらか〉で〈のびやか〉な元永のスタイルは絵画制作にとどまらず、立体造形、絵本、パフォーマンス、文筆や、他領域の作家たちとのコラボレーション等へと広がりを見せ、大人から子どもまで、あらゆる世代の人々に愛される芸術を生涯展開し続けました。

会期中のイベント

①トークセッション「神戸から、三重から、元永定正を語る」

「生誕 100 年 元永定正展―伊賀上野から神戸、そしてニューヨークへ―」を企画・担当された兵庫県立美術館の遊免寛子(ゆうめんひろこ)氏を迎え、トークセッションを行います。

10月8日 [土] 午後2時~ *約60分

遊免寛子(兵庫県立美術館学芸員)×原舞子(はらまいて 当館学芸員)

会場:三重県立美術館企画展示室

定員:20名

聴講無料/先着順

*観覧券をお持ちの上、企画展示室入口にお集まりください。

②「This is もうやん」映像上映会

元永定正の生誕 100 年を記念して制作された映像の上映会を行います。

11月26日[土] 午後2時~ *約45分

会場:三重県立美術館地下1階講堂

定員:70名

参加無料/先着順 *開場・受付は午後1時30分~

③担当学芸員によるスライドトーク

11月5日「土」 午後2時~ *約40分

会場:三重県立美術館地下1階講堂

定員:70名

参加無料/先着順 *開場・受付は午後1時30分~

④三重県立図書館による出張図書館

11月26日「土] 午後

関連図書の展示・貸出を行います。利用カードの新規作成も行います。詳細は当館ウェブ サイトをご確認ください。

同時期開催

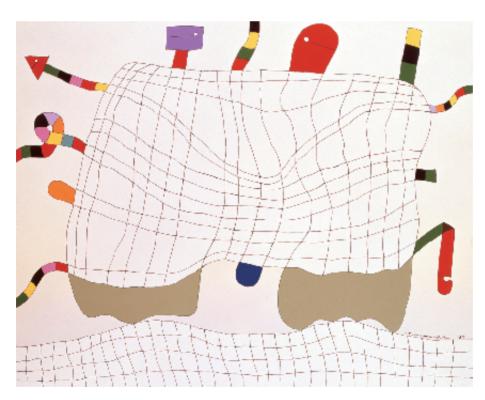
元永定正の生誕 100 年を記念して、各地で展覧会が開催されます。詳しくは各施設に直接 お問合せください。

「元永定正のドキュメンテーション」

宝塚市立文化芸術センター(兵庫県宝塚市武庫川町 7 番 64 号) 9月10日 [火] ~ 10月10日 [月・祝]

「生誕 100 年 元永定正展 一寸さきは光 ~伊賀が生んだ 美術の滑稽~」

史跡旧崇広堂(三重県伊賀市上野丸之内 78 番地の 1) 10月1日 [土] ~ 10月 31日 [月]



④元永定正《せんがおおゆれ》 1987 年 三重県立美術館蔵

広報用画像のご提供について

本プレスリリース掲載の画像を広報用に提供します。

ご希望の方は、注意事項をお読みの上、下記連絡先に希望の画像番号をお知らせください。 Eメールにて画像をお送りいたします。

■掲載にあたってのお願い

- ・キャプション(作家名、作品名、制作年、所蔵者名)を画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字のせ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を1部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。
- ・ご使用後は、画像データを完全に削除してください。

■お問い合わせ

三重県立美術館

(企画・担当学芸員) 原舞子

(広報担当) 橋本三奈

TEL 059-227-2100(代表) / FAX 059-223-0570

E メール bijutsu2@pref.mie.lg.jp

〒514-0007 津市大谷町 11 番地

https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/

Follow us on Twitter @mie kenbi



⑤元永定正《ひかり》 1997 年 三重県立美術館蔵